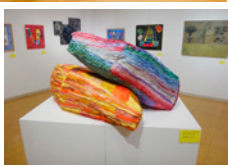
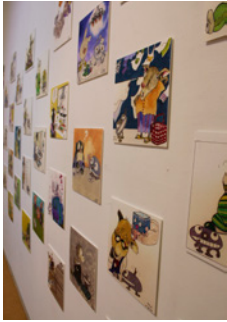
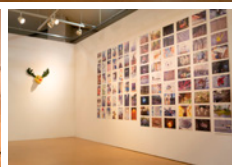
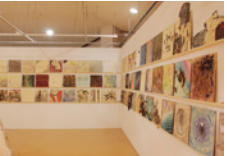




GALLERY FLEUR

京都精華大学ギャラリーフロール
2018年度活動報告



GALLERY FLEUR

京都精華大学ギャラリーフロール

2018年度活動報告

基本方針、沿革

京都精華大学ギャラリーフロールは1997年に旧大学図書館を改築して開館、1999年に博物館相当施設の指定を受け登録された。現在は、本学の教育研究活動の成果を社会に発信し、文化・芸術の教育研究活動に資する企画展覧会の実施を目的として、本学「展示コミュニケーションセンター」が運営している。

ギャラリーフロールは大学ギャラリーの特徴として、学生や教職員の研究・制作活動と密接に関連する展示発表が多くを占めているが、芸術に親しむ機会をより多くの方に提供するため、すべての方を対象に入館無料としており、大学の社会的貢献を果たす役割も担っている。

ギャラリーフロールで開催される展覧会には「企画展」と「申請展」の2種類があり、「企画展」は在学生への教育効果や社会的に有意義であると認められる展覧会として、展示コミュニケーションセンターを中心に、教職員および学内機関が連携して企画、実施している。また、「申請展」は本学の在学生や教職員、卒業生など関係者を対象に年2回の募集選考を行っている。

本学では、2016年度より各学期末に「学修成果の確認・発表週間」が設定されたほか、2017年度からは全学部・全研究科の「卒業・修了発表展」を学内で開催しており、ギャラリーフロールを含む学内展示空間の活用が期待されている。また、近年は学外において教学内容や研究成果を発表する機会も増えている。このような経緯を受けて、展示を通して全学的な学びの成長度や研究成果を可視化し、表現と社会の関係性を追求する企画展示や発表を学内外においてさらに推進していく役割として、2018年度より新たに「展示コミュニケーションセンター」が設置された。

今後、展示コミュニケーションセンターはギャラリーフロールの企画・運営だけでなく、全学的な学修成果や研究成果の発表を通じ、社会に向けて本学の取組みを積極的に提示・発信していく役割を担っていく。

目次

【概要】	
基本方針、沿革	02
2018年度活動サマリー	04
【展覧会】	
ビジュアルデザイン学科3年生	06
プロジェクト授業成果発表「パンプアップ展」	
京都国際マンガ展20年の軌跡	08
京都精華大学50周年記念展「アスピレーションズ—8つの扉」	10
体幹教育前期学修成果発表2018	14
合同陶芸展	16
No-interaction	18
Obsession Conception Possession	20
SEIKA JACK	22
ここん 京都精華大学嵯峨御流華道同好会 第21回華展	24
共生社会の実現に向けて二歩目を踏み出す展覧会	26
2018年度「京都の伝統産業実習」報告展	28
京都精華大学50周年記念展「石黒宗磨と八瀬陶窯—五〇年目の窯出し—」	30
タイカン後期学修成果発表2018	34
京都精華大学展2019 大学院展	36
[芸術研究科・デザイン研究科・マンガ研究科]1年生研究制作展	
京都精華大学展2019 大学院展	38
[芸術研究科・デザイン研究科]2年生修了制作展	
創造的ドローイング	40
「かくこと、きくこと、つくること」勇内真美個展	42
京都精華大学展2019作品選抜展	44
【基本情報】	
展覧会歴	46
出版物一覧	55
来場者数・利用案内	56
施設図面	57

2018年度 活動サマリー

2018年度より京都精華大学ギャラリーフロールの運営は、全学研究機構のもとに設置された「展示コミュニケーションセンター」が行っている。展示コミュニケーションセンターは、本学の教育研究活動の成果を積極的に発表し、地域社会との連携や交流を図るとともに、広く芸術・文化の教育研究活動に資する企画展覧会・報告会を実施することで、大学教育の発展と地域社会の振興に寄与することを活動目的として2018年4月に設立された。

新しい体制となった本年度は、ギャラリーフロールの運営においても学外施設の調査活動と連携した企画展の開催などを通して、さまざまな組織や人との関係を新たに構築し、本学の研究成果を広く発信することを目的に活動に取り組んだ。

また、本年度は本学創立50周年を迎えた記念として2つの「企画展」を開催した。その一つ「アスピレーションズー8つの扉」では、美術作家の塩田千春やマンガ家の竹宮恵子など、卒業生あるいは教員として本学で時を過ごした8組の作家や研究者の活動を紹介した。1970年代から現在に至るまで、芸術、デザイン、

マンガ、人文学、科学などの領域において多彩な才能を発揮した彼らの作品を通して、建学の精神を振り返りつつ、今、そして未来のために何をなすべきか、そして学生たちにどんな問いやヒントを投げかけ、ともに歩いていくべきかを考える機会となった。

もう一つの企画展「石黒宗麿と八瀬陶窯 ―五〇年目の窯出し―」では、人間国宝として認められた陶芸家・石黒宗麿が晩年に生活・制作の拠点とし、現在は本学が管理する「八瀬陶窯」に残された陶片の検証を起点とした調査・研究活動を紹介。調査活動中に窯内から発見された石黒作とおもわれる「木葉天目茶碗」の初公開をはじめ、陶片に触れることができる展示の試みや、八瀬陶窯見学ツアーなどを実施。新たに知り得た石黒の作陶風景を共有する展覧会を行うことができた。

「申請展」においては、授業の成果発表を含めた16の展覧会を開催した。デザイン学部ビジュアルデザイン学科企画の「パンプアップ展」では全11のプロジェクト授業の成果を発表し、芸術学部造形学科企画の「体幹教育前期学修成果発表2018」と「タイカン後

期学修成果発表2018」では1年次対象の共通教育の一つ「体幹教育」の学びの成果をギャラリー空間を存分に使用することでダイナミックに実感できる展示を行った。そのほか、京都の伝統産業に携わる工房・企業の現場に学生が弟子入りして学ぶ本学独自のプログラム「京都の伝統産業実習」の報告展、「京都精華大学展2019大学院展」、「京都精華大学展2019選抜展」として、学生の制作・研究活動の集大成となる展覧会を実施した。

学生、教員による申請展としては「京都国際マンガ展20年の軌跡」、「共生社会の実現に向けて二歩目を踏み出す展覧会」、「No-interaction」、「Obsession Conception Possession」、「SEIKA JACK」、「創造的ドローイング」、「『かくこと、きくこと、つくること』勇内真美個展」など、多様なテーマ、そしてメディアを使用した展覧会を多数開催。

さらに学生課外活動団体による「ここん 京都精華大学 嵯峨御流華道同好会 第21回華展」、本学を中心に京都の4つの大学で陶芸を学ぶ学生たちが交流を通じて陶芸がもつ特異性を考察した「合同陶芸展」など、伝統的な美や

文化を起点にしながらも、同時代性からの考察や新しい表現を試みようとする意欲的な展覧会を開催した。

企画展だけでなく個々の申請展においても積極的にトークイベントやクロージングライブなど多様な催しが企画された結果、広く学外の方にギャラリーフロールに対する関心を高めることができた。

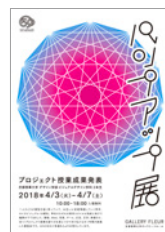
来年度は展示コミュニケーションセンターとしての活動を進展させ、ギャラリーフロールの特徴を活かした展覧会の企画運営に取り組むとともに、学外の組織や施設と連携した展示機会をさらに増やすことで、社会への発信力を強め、本学の教育研究活動の成果を伝えていくことをめざす。

ビジュアルデザイン学科3年生 プロジェクト授業成果発表「パンプアップ展」

2018年4月3日[火] - 4月7日[土]

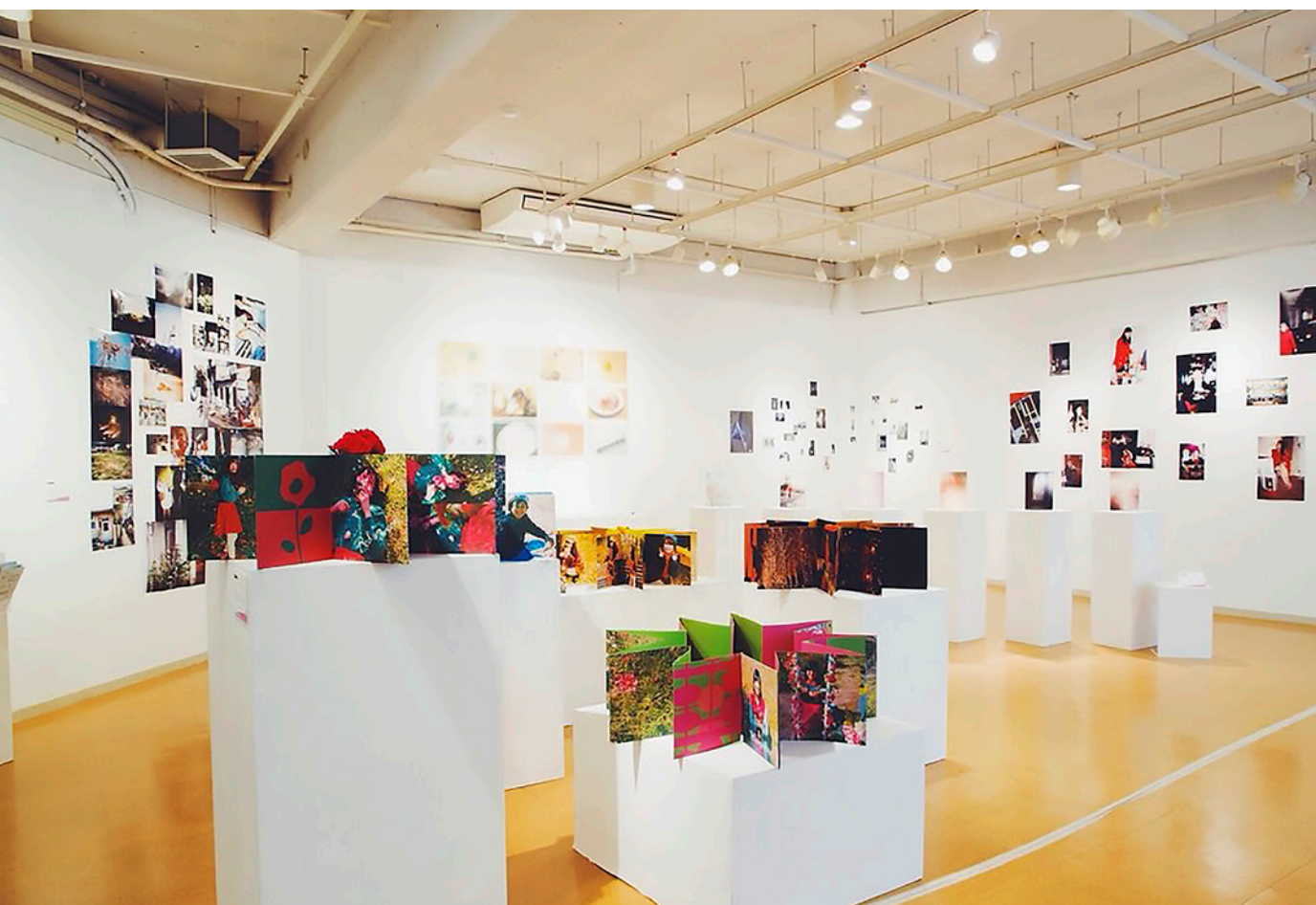
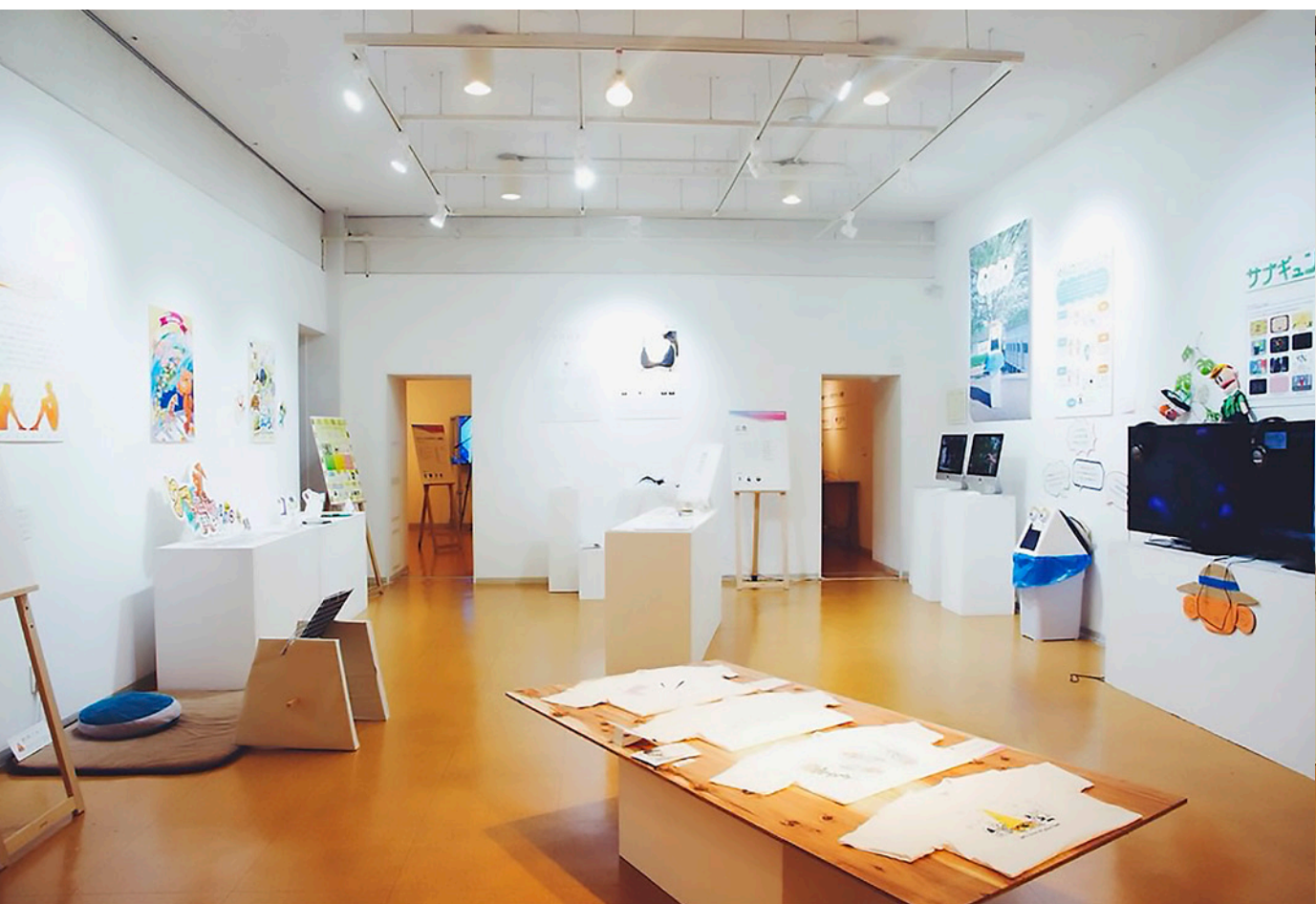
開館時間 11:00 - 18:00

企画 ビジュアルデザイン学科



一人ひとりが個性を強く持ち、お互いに切磋琢磨していく学年、セイカビジュアル10期生。学生それぞれの制作スタイルも完成に向けて輪郭がでてきた。

模様、WEB、写真、ゲーム、広告、文字、映像など、全11プロジェクト授業を経て、力を身につけてきた10期生の1年間の成果を集めた展覧会。



京都国際マンガ展20年の軌跡

2018年 4月17日[火] - 4月29日[日]

開館時間 11:00 - 18:00

企画 京都国際マンガ展20年の軌跡実行委員会



関連イベント

トークイベント

4月28日[土] 13:00 -

ゲスト ヨシトミヤスオほか



京都国際マンガ展は1991年から2011年まで計10回にわたって開催されたひとコママンガ(カートゥーン)の国際公募展。歴代受賞作などから厳選されたユーモアと風刺に彩られた数々の原画を展示した。

現マンガ学部の元となるマンガクラス(現カートゥーンコース)を、45年前に世界で初めて、京都精華大学に創立し、京都国際マンガ展の創設者でもあるヨシトミヤスオ(マンガ家・京都精華大学名誉教授)の最新作38点も特別展示した。

企画展

京都精華大学50周年記念展 「アスピレーションズー8つの扉」

2018年 6月8日[金]ー7月7日[土]

休館日 日曜日 ※6月10日は開館

開館時間 11:00ー18:00 ※6月8日[金]は14:00開場

出展作家 片桐ユズル/黒崎彰/塩田千春/
柴谷篤弘+日高敏隆+中村裕太/
竹宮恵子/タナカカツキ/西田潤/村岡三郎

主催 京都精華大学

監修 吉岡恵美子

企画 櫻岡聡/池田和正

協力 兵庫県立人と自然の博物館/ケンジタキギャラリー/
レベッカ・ジェンソン/STUDIO森森

制作スタッフ 井上朔美

グラフィックデザイン 三重野龍

関連イベント

オープニング・イベント

日時 6月8日[金]16:30ー18:00

「アーティスト・トーク」

会場 京都精華大学ギャラリーフーロール

トーク終了後 レセプション

会場 京都精華大学 iC-Cube (明窓館M-101)

片桐ユズル+中川五郎

ギャラリートーク+LIVE Poetry reading / folk song

日時 7月2日[月]18:00ー19:30

会場 京都精華大学 iC-Cube (明窓館M-101)

Part 1 ギャリートーク / Part 2 詩の朗読会・フォークソング〜LIVE !!!

本展出品者の片桐ユズル氏とフォーク・シンガーの中川五郎氏はこれまで様々なコラボレーションを行ってきた。お二人をお招きし、詩の朗読会とフォークソングを中心するライブを開催した。

タナカカツキトークイベント

日時 6月25日[月]18:15ー19:30

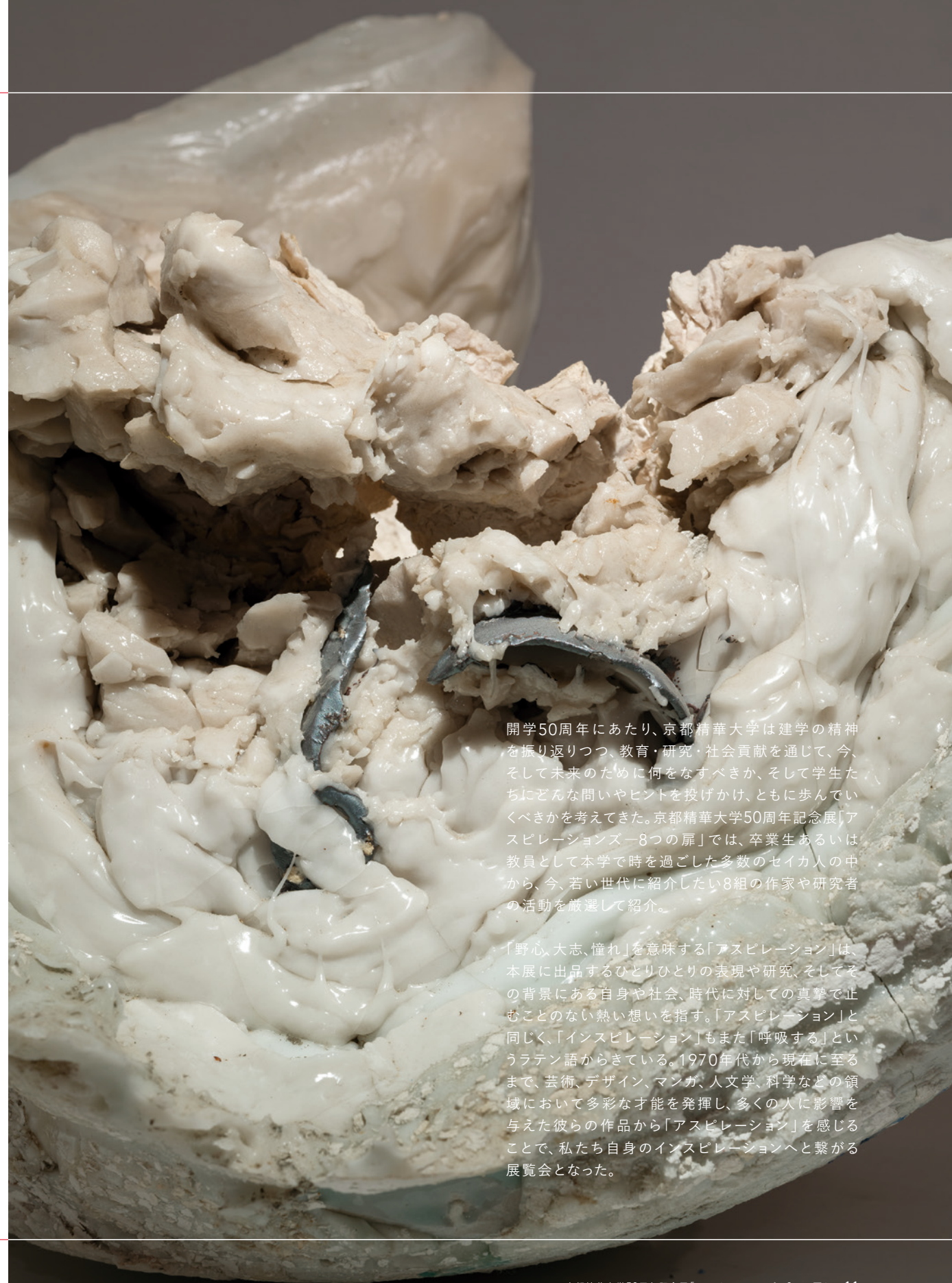
会場 清風館C-103

マンガや映像、カプセルトイから、水草水槽にサウナに至るまで、様々なジャンルにわたり活動と発信を続けるタナカカツキ氏。その多彩でユニークな創作の秘密に迫った。

アセンブリーアワー講演会 塩田千春「世界をひとつに繋ぐ」

日時 7月5日[木]16:20ー17:50

会場 京都精華大学 友愛館 アゴラ



開学50周年にあたり、京都精華大学は建学の精神を振り返りつつ、教育・研究・社会貢献を通じて、今、そして未来のために何をなすべきか、そして学生たちにどんな問いやヒントを投げかけ、ともに歩いていくべきかを考えてきた。京都精華大学50周年記念展「アスピレーションズー8つの扉」では、卒業生あるいは教員として本学で時を過ごした多数のセイカ人の中から、今、若い世代に紹介したい8組の作家や研究者の活動を厳選して紹介。

「野心、大志、憧れ」を意味する「アスピレーション」は、本展に出品するひとりひとりの表現や研究、そしてその背景にある自身や社会、時代に対しての真摯で止むことのない熱い想いを指す。「アスピレーション」と同じく、「インスピレーション」もまた「呼吸する」というラテン語からきている。1970年代から現在に至るまで、芸術、デザイン、マンガ、人文学、科学などの領域において多彩な才能を発揮し、多くの人に影響を与えた彼らの作品から「アスピレーション」を感じることで、私たち自身のインスピレーションへと繋がる展示会となった。



申請展

体幹教育前期 学修成果発表2018

2018年7月19日[木] - 7月28日[土]

開館時間 11:00 - 17:00

体幹教育
前期学修
成果発表
2018

京都精華大学 芸術学部
造形学科 体幹教育
GALLERY FLEUR

企画

京都精華大学 芸術学部
造形学科 体幹教育



「体幹教育」は感覚に基づく経験と思考の共有を大切にし、創作の原点である「表現することの喜び」を体感する授業である。

指先で触れ、素材の感触を確かめ、五感を働かせながら観察し創作を展開する。そういった「感覚に基づく経験の蓄積」が、それまでの認識を越えて表現の多様性を考えるきっかけとなるだろう。芸術基礎教育の固定観念を振り払い、和やかなコミュニケーションを通じて、互いのエスキース・思考を共有することにより、創造力や思考力は柔軟性を持ち、様々な視点を得ることになる。「つくること」、「考えること」のバランスをとりながら、表現者としての「幹」を育てることが体幹教育の目標である。

ここに2018年度前期「視覚のクリエイション(絵画基礎)」「生活のレクリエーション(工芸基礎)」の授業成果の一端を展示。後期は「対象のトランスフォーメーション(彫刻基礎)」「表現のバリエーション(デザイン基礎)」へと展開していく。この展示が「表現の可能性」を模索する契機となり、学生達の自信に繋がることを期待する。

芸術学部造形学科 体幹教育担当教員



申請展

合同陶芸展

2018年 8月3日[金] - 8月5日[日]

開館時間 11:00 - 18:00

参加大学 京都市立芸術大学 / 京都精華大学 /
京都造形芸術大学 / 嵯峨美術大学



関連イベント

トークショー「Do you know(どーゆーの)陶芸?」

日時 8月4日[土]12:00-

ゲスト

平田万葉 (2017年京都市立芸大大学院美術研究科修士課程修了) /

林大作 (2010年京都精華大学大学院芸術研究科修了) /

吉田瑞希 (2015年京都造形芸術大学大学院修了) /

田中悠 (2013年嵯峨美術大学工芸領域陶芸分野卒業)



京都にて陶芸を学ぶ学生のカンファレンスとなることを目的に「同時代学生陶芸展」は2008年より毎年開催されてきた。当時より会場とする立誠小学校の改装に伴い、会場や時代の変化に対応すべく、2017年度よりゲスト校を招くなどの更新が行われた。そして、今年度より「合同陶芸展」として体制を整え、交流としての展示会だけではなく、交流を含めた同時代性から陶芸という分野の特異性を、外部の人々にアピールする機会へと変えていった。



申請展

No-interaction

2018年 8月23日[木] - 9月1日[土]

休館日 日曜日

開館時間 11:00 - 18:00

出展作家 宮野有史 / 塚原真梨佳 / 原田和馬 /
中路景暁 / よしだともふみ / おおしまたくろう



主催・企画 No-interaction

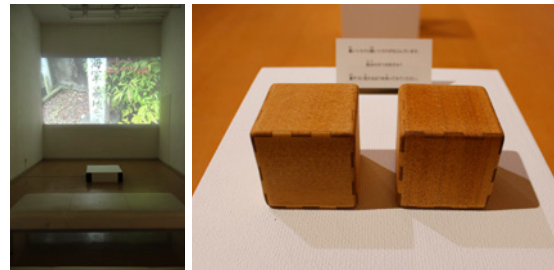
関連イベント

クロージング・ライブ

「No Sakyo-Ku」

日時 9月1日[土] 14:00 - 18:00

会場 京都精華大学ギャラリー
フロール 2階



かつてコンピューターと人間の協調作業を目指した「インタラクション(相互作用、対話)」の考え方が、社会システムにまで適用されるようになって久しい。インターフェースは改良を重ね、私たちはストレスなく上質な体験にアクセスできるようになった。

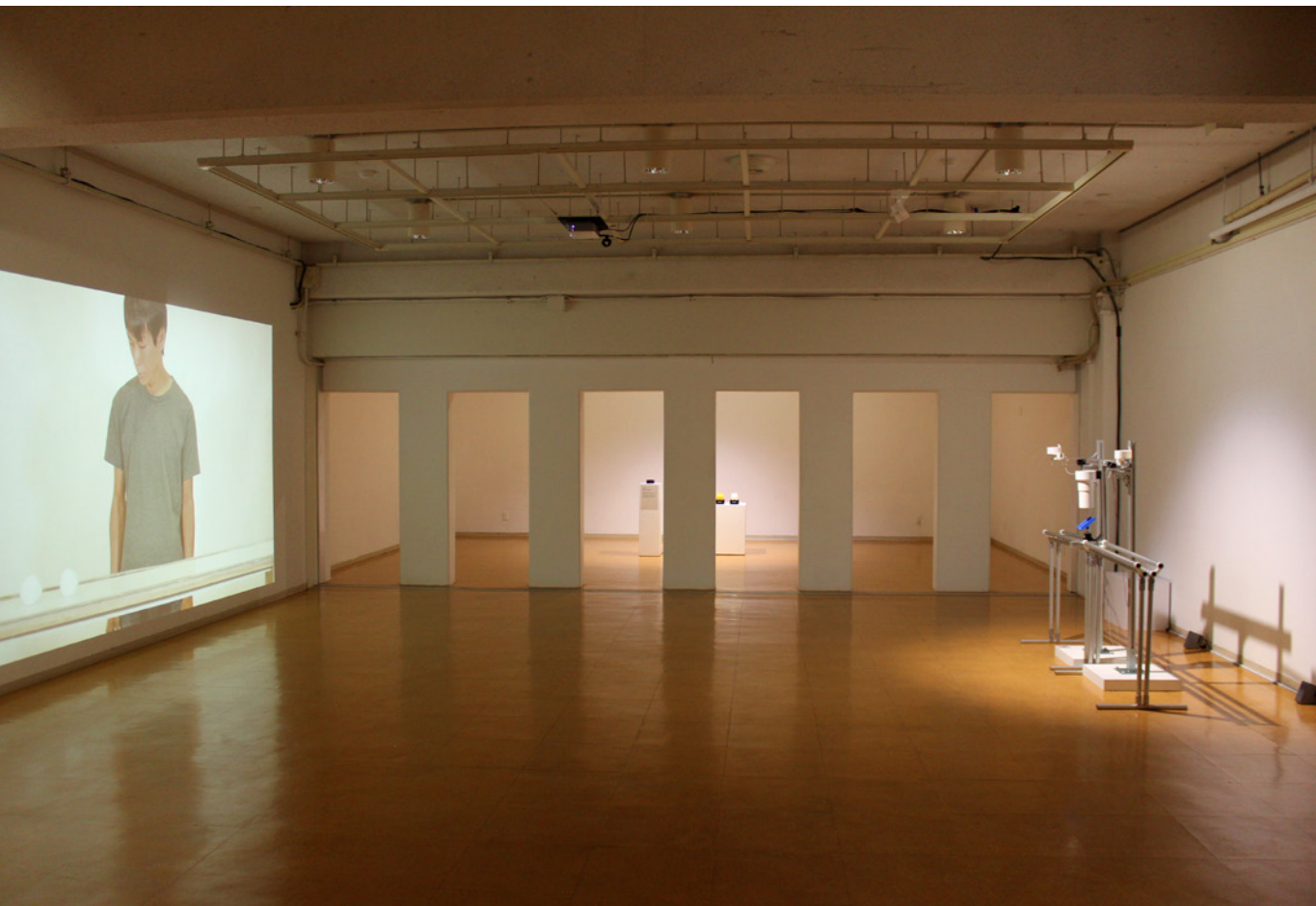
しかしSNSに代表されるように、誰もが誰ともない人との交流をシームレスに行えるようになった一方で、相手のアクションに素早く反応し、自らのアクションにもリアクションを求めるような脊髄反射的なコミュニケーションが台頭してきている。そのようなリアクティブなコミュニケーションの場では、人の目を引く過激で明快な主張が支持されている。

人類はこれまでに幾度となく他者との対話を試みてきた。神、死者、自然、内なる私、地球外生物…。他者

との対話を通して、応答の有無に関わらず発信し続ける努力や、応じざるを得ない責任から生じる返答能力の不足の自覚など、人類は生きてゆくための数多くの術を学んできた。

20世紀に登場したコンピューターも未知の可能性と恐怖を孕んだある種の他者だと考えれば、インタラクションとは現代における他者との対話の手段だったのかもしれない。

本展はリアクティブではあるが他者とのコミュニケーションを誘発しない現代のインタラクション観に異議を唱え、インタラクションを他者との対話の手段とみなし、黙って相手の話に耳を傾けることや返答に戸惑うといった、コミュニケーションにおけるある種の間の悪さを対話の重要な要素として評価する試みである。



申請展

Obsession Conception Possession

2018年 9月10日[月] - 9月29日[土]

休館日 水曜日・日曜日 ※9月30日は開廊

開館時間 11:00 - 18:00

出展作家 桑島秀樹 / 笹口数 / 佐藤実 / 古屋俊彦 / 若林雅人

主催・企画 Obsession Conception Possession 実行委員会 / 京都精華大学 デザイン学部 イラスト学科

協力 20202 (ツオーツオーツ)

助成 公益財団法人 朝日新聞文化財団、公益財団法人 野村財団

関連イベント

Obsession Conception Possession Extra Sound Event

日時 9月8日[土] 18:00 - 20:00

料金 1000円 **会場** STUDIO22 (スタジオオブジ)

出演 ニシジマ・アツシ (4) / 佐藤実 (Minoru Sato, -m/s)

オープニングトーク

日時 9月10日[月] 17:00 - 18:00

会場 京都精華大学 ギャラリーフロール

出演 桑島秀樹 / 笹口数 / 佐藤実 / 古屋俊彦 / 若林雅人

古屋俊彦トーク

日時 9月15日[土] 16:00 - 18:00

会場 京都精華大学 ギャラリーフロール

出演 古屋俊彦

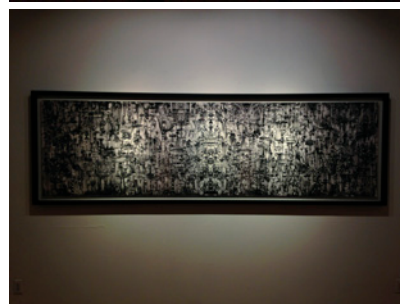
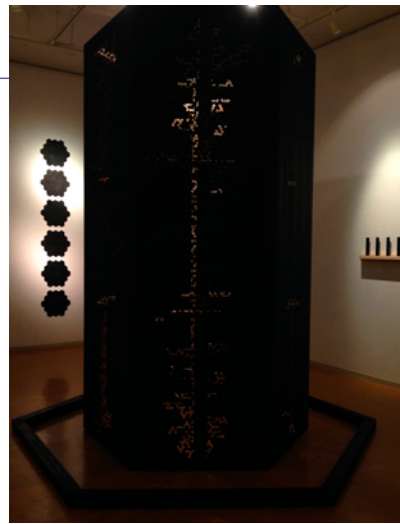
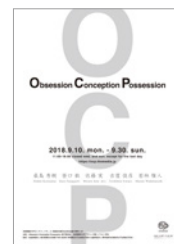
クロージングトーク

日時 9月29日[土] 16:00 - 18:00

会場 京都精華大学 ギャラリーフロール

出演 桑島秀樹 / 笹口数 / 佐藤実 / 古屋俊彦 / 藤本ゆかり

ゲスト 前林明次 **司会** 伊藤麻衣子



アイデアやコンセプトが作品の中心的役割をはたすという概念が、コンセプチュアル・アートとして1960年代に美術のジャンルとして用いられ始めてから半世紀以上が経過した。アメリカ、ヨーロッパで発生したこの流れも現代の視点で標榜したとき、時代や国、文化的な背景も含めさらに多様化している。

今展覧会では20年以上のキャリアを持ち、それぞれ異なる視点でアイデアという言葉だけではとどめることの出来ない思考と探求の痕跡を作品化している、桑島秀樹、笹口数、佐藤実、古屋俊彦、そして若林雅人という5作家の作品、インスタレーションを一同に展示する事により、現在の日本に於けるコンセプチュアル・アートの堅固な表現の一端に触れる機会をつくった。そして作品を通じて、美術のフィールドから物理、哲学、言語学、など様々な世界へ通じる、新たな視点を提示することになった。

今展のタイトル「Obsession Conception Possession」について。作品制作のきっかけとなるイメージとは、まだ言葉やビジュアルに変換される以前の、思考の中にある輪郭のはっきりしない思いやこだわり (Obsession) から始まり、そこから次第にその思考に輪郭や言葉を与える作業へ移行し、時間をかけ研究、検証される行為とともに制作が開始されコンセプト (Conception) になっていく。そして制作された作品は何者か、あるいは何処かに所蔵、所有される所蔵品 (Possession) となるという、作品を巡る一つのプロセスを言葉として置き換えたものであり、今展覧会のテーマとなっている。

作品を中心として、自己に立返り、世界と繋がるプロセスを再考出来る機会となればと考える。



申請展

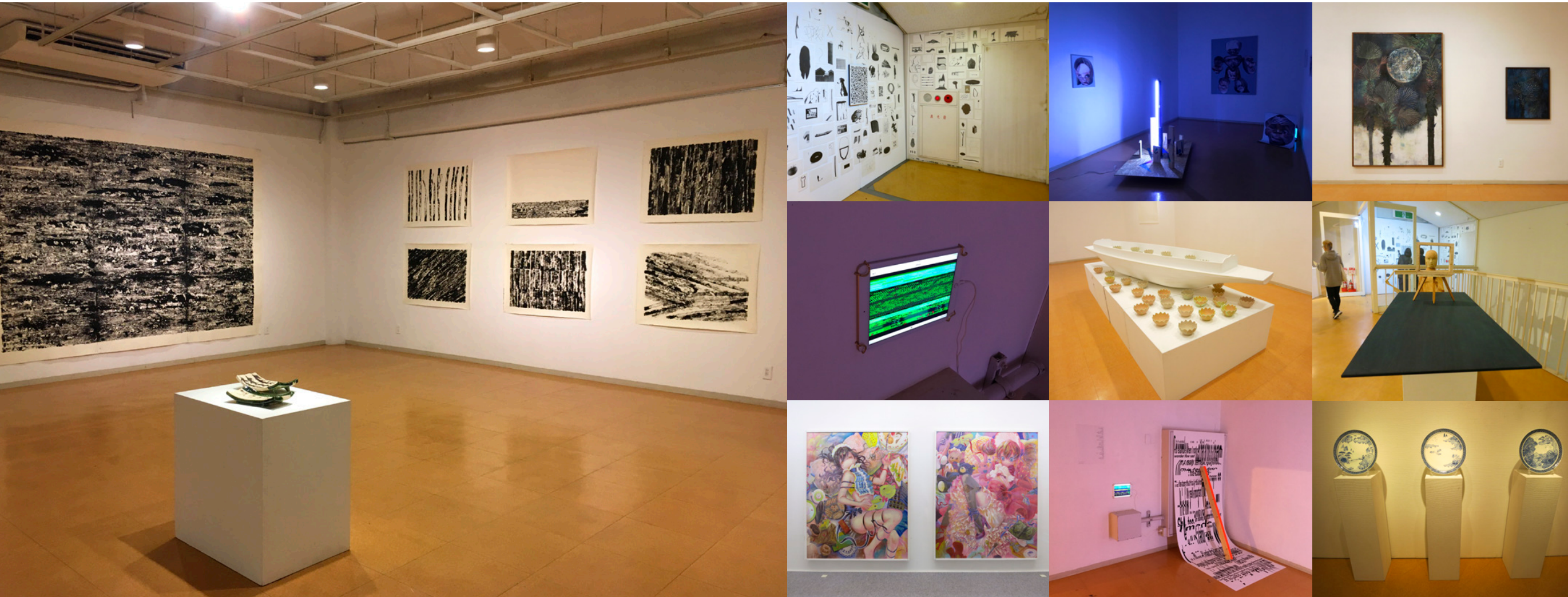
SEIKA JACK

2018年 11月3日[土] - 11月4日[日]

開館時間 10:00 - 18:00

主催 エ

我々は京都精華大学祭"木野祭"が開催される11月3・4日の2日間、ギャラリーフロールを拠点に流溪館・ドラフトギャラリーなど、大学敷地内の数ヶ所に作品群を展開し占拠する。



ここん 京都精華大学 嵯峨御流華道同好会 第21回華展

2018年 11月9日[金] - 11月10日[土]

開館時間 10:00 - 17:00



主催
京都精華大学嵯峨御流華道同好会

後援
はな古伝

協力
京都精華大学 陶芸コース(陶芸専攻)



伝統的な美を大切にしながらも新しい変化を取り入れていくという、日本の芸術表現の心構え『不易流行』をイメージしてここん(古今)というタイトルをつけた。

日本人は四季の移ろいや自然の美しさに感動を覚え「いけばな」を作り出した。

美しい自然の造形を人の手と技を通して、さらに美しく見せるために、華道同好会は日頃から伝統を学び、鍛錬を重ねている。その上で、今を生きる自分たちの表現に昇華させることを目標にしている。

一輪の花、一本の枝は二つと同じものがない。そして、いけばなの作品は時の経過と共に変化し永遠に留めることができない。二度と再現できない命の芸術の「伝統」と「革新」をこの展覧会で表現した。



申請展

共生社会の実現に向けて 二歩目を踏み出す展覧会

2018年 11月14日[水] - 11月24日[土]

休館日 11月18日[日]/23日[金・祝]

開館時間 11:00 - 17:00

出展作家 NPO法人「天才アートKYOTO」所属作家/
京都市立明德小学校児童/京都精華大学の学生・教職員



主催

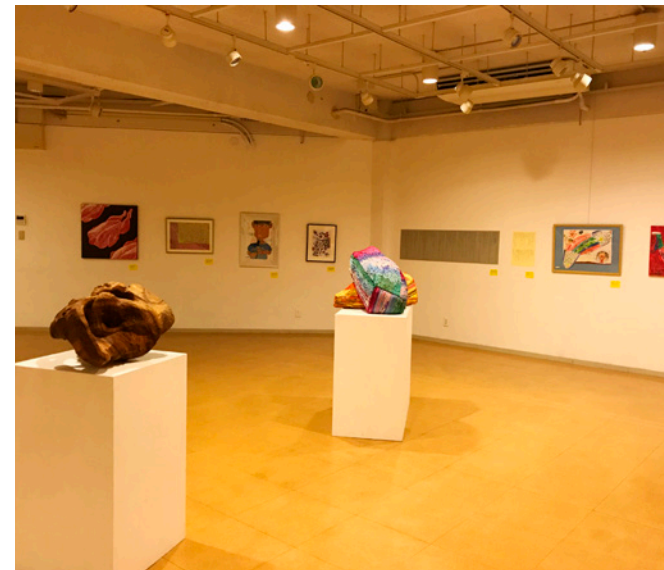
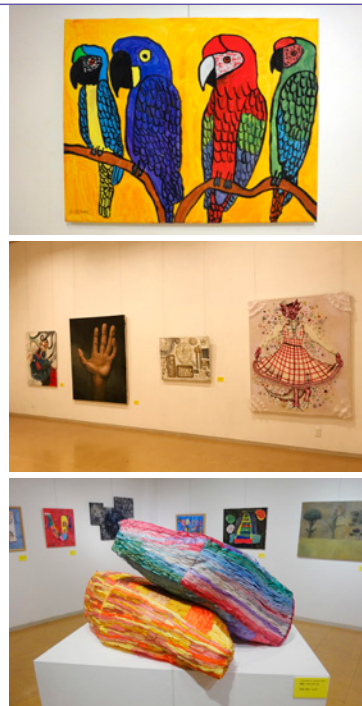
京都精華大学 北波研究室

共催

特定非営利活動法人障害者芸術推進研究機構/
京都市立明德小学校

後援

京都市教育委員会



バリアフリーからユニバーサルデザインへ、ノーマライゼーションからインクルージョンへ、障がい者を取り巻く状況は大きく変化してきた。私たちは障がいのある人もない人も、もともと社会全体の中でそれぞれが尊い存在であり、障がいは特別なものではなく一つの個性であると捉えるようにしている。障がいのある人もない人も、共に生きる共生社会の実現を目指すことは、今を生きる私たちに課せられた責務であると考えている。

今回、創作に関わる者同士として、障がいのある人とない人の作品を、並列に、ボーダレスに、展示する展覧会を企画した。障がいのある人はいない人から、ない人はある人から学ぶことは多いと思う。この展覧会では、障がいのある人とない人の作品を、交互に展示することにこだわった。そのことによって共生社会の大切さを訴え、小さな一歩を踏み出したかったからだ。



申請展

2018年度
「京都の伝統産業実習」
報告展

2018年 11月27日[火] - 12月7日[金]

休館日 12月2日[日]

開館時間 11:00 - 18:00

主催

京都精華大学 伝統産業イノベーションセンター

協力(実習先・順不同)

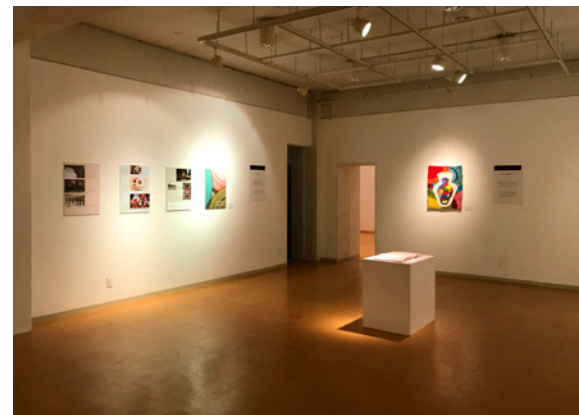
【織物】(株)川島織物セルコン / 【綴織】細見綴織工房 /
【京友禅】(株)千總 / 【草木染組紐】(有)藤三郎紐 /
【染色】染司よしおか / 【和紙】手漉き造紙工房 風空路 /
【京唐紙】唐長 / 【京版画】佐藤木版画工房 /
【陶磁器】竹中浩工房 / 【漆工芸】好謙漆工房 /
【木工芸】宮崎木材工業(株)、中川木工芸 比良工房 /
【京人形】面庄工房 / 【京象嵌】(株)川人象嵌 /
【文化財修復】(株)さわの道玄 /
【京表具・文化財修復】(株)岡墨光堂 /
【お香】(株)松榮堂 / 【茶筒】開化堂 /
【地場産業支援】鯖江市役所

関連イベント

日時 11月28日[水] 10:40 - 12:10

会場 京都精華大学 黎明館1階 L-101

今年度の実習生が工房体験の様子や制作した作品について語った。



京都精華大学では1980年より約40年にわたり、夏期の約2週間、京都の伝統産業に携わる工房・企業の現場に弟子入りして学ぶ「京都の伝統産業実習(学外実習)」プログラムを実施している。

2018年度も染織、和紙、京版画、木工芸、金工芸、文化財修復などの様々な分野の実習先19社で、芸術学部・デザイン学部の3・4年生30名が実習を行った。その成果発表報告展を開催した。



企画展

京都精華大学50周年記念展
「石黒宗麿と八瀬陶窯
—五〇年目の窯出し—」

2018年12月14日[金]—2019年1月12日[土]

休館日 日曜日/12月24日[月・祝]/
12月29日[土]—1月6日[日]

開館時間 11:00—18:00
※ただし、12月14日[金]は16:00開場

主催・協力・企画・実行委員会

主催 京都精華大学 協力 射水市新湊博物館/銀座 黒田陶苑/金田正夫(有限会社無垢里)/木立雅朗(立命館大学)/黒石いずみ(青山学院大学)/坂部真理(株式会社環境事業計画研究所)/田畑幸嗣(早稲田大学)/ナワビ矢麻(早稲田大学)/余語琢磨(早稲田大学) 企画 京都精華大学 八瀬陶窯研究会(米原有二/奥村博美/斎藤光/兼松佳宏/中村裕太) 実行委員会 小野公久/木村盛伸/黒田佳雄/鯉江良二/清水保孝/馬場弘吉/原清/森口邦彦

関連イベント

オープニングトーク&レセプション

2018年12月14日[金]17:00—

オープニングトーク「八瀬での石黒宗麿を語る」

登壇者 本展実行委員会、本学教員

会場 京都精華大学ギャラリーフーロール

トーク終了後 レセプション

会場 京都精華大学iC-Cube(明窓館M-101)

八瀬陶窯 探訪ツアー

2019年1月12日[土]13:00—16:00

本学教員と共に石黒の工房兼住居「八瀬陶窯」を訪ねるツアーを開催した。

集合場所・時間 13:00 ギャラリーフーロール

参加料 無料 定員 20名

フライヤー



ポスター



オープニングトーク&レセプション



八瀬陶窯 探訪ツアー





一、八瀬に窯を開く



伝統に根ざし、伝統に縛られず。

独学でありながら、生涯でこれほど多くの作風に挑んだ陶芸家は稀ではないだろうか。石黒宗麿は、古代から連綿と積み重ねられた陶芸技法の数々を紐解き、再現し、それを自身の表現に取り込もうとした人だった。陶片を師に、物の声に懸命に耳を傾けて陶芸を学んだ。晩年の石黒が暮らし、作陶の場とした「八瀬陶窯」には、自身の理想を追い求め、先人たちの技法に学び続けた石黒の痕跡が随所に残っている。

京都精華大学では、八瀬陶窯とそこに残された陶片の検証を起点とした調査・研究活動を2018年からおこなっている。八瀬陶窯は、大正・昭和を生きた文人の美意識を今に伝える。そして、暮らしと作陶が連続した人生を送った石黒の精神性を読み解くにはこれ以上ない場所だ。調査研究の結果、登り窯周辺で土砂に埋もれていた「灯油窯」と「楽窯」が新たに発見され、これまで明らかになっていなかった石黒の作陶設備を知る手がかりとなった。

2018年6月、本研究の一環として実施した登り窯測量調査において、窯内から石黒作とおもわれる「木葉天目茶碗」が発見された。本作品は焼成時に容れる「匣鉢」に納められた状態で残っており、焼成時に匣鉢と作品の付着を防ぐための目土も付いたままだったことから、石黒自身が焼成後に取り出すのを忘れたものと考えられる。本作品においては未解明な部分も多く、今後さまざまな機関と協力して全容を解明していく。本展では、新たに知り得た石黒の作陶風景を共有するとともに、いまだ明らかになっていない人物像を来場者と共に考えるきっかけになればと企画した。

申請展

タイカン後期
学修成果発表2018

2019年 1月23日[水] - 1月25日[金]

開館時間 11:00 - 17:00 ※最終日のみ16:30閉館



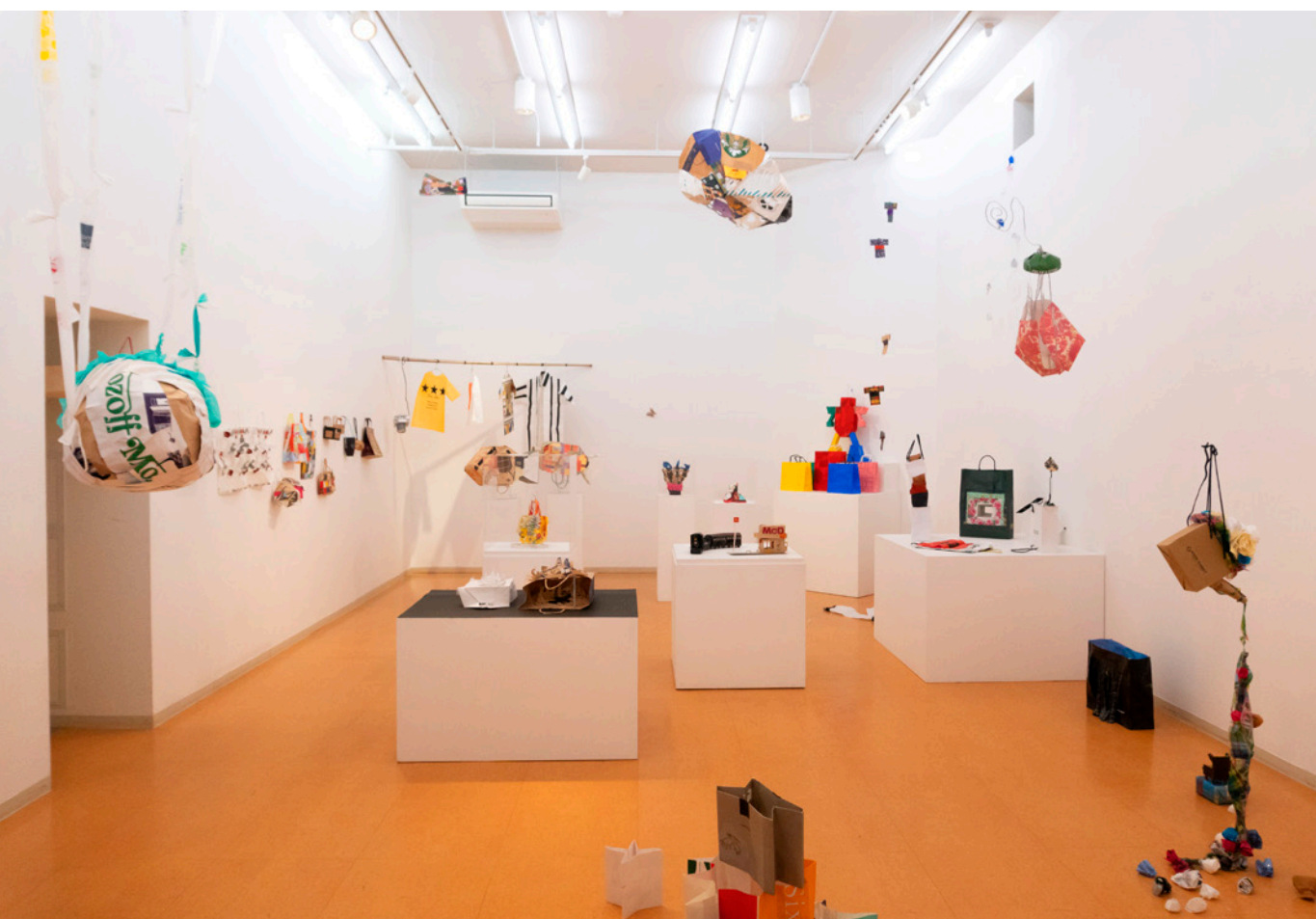
主催
京都精華大学
芸術学部造形学科
1年次共通教育 体幹教育



京都精華大学・芸術学部にて2017年度より新たに始まった1年次共通教育のひとつ「体幹教育」。

本年度後期は「対象のトランスフォーメーション」(彫刻基礎)と「表現のバリエーション」(デザイン基礎)という2つのカリキュラムに、芸術学部1年生全員が挑んだ。

casting, site-specific works, installations, new sports concepts, camera obscura, zine-making, sound performance or live-action animation, and reusing made objects for space construction. The results of the trial by students at Tokai University were displayed together.



京都精華大学展2019 大学院展
[芸術研究科・デザイン研究科・マンガ研究科]
1年生研究制作展

2019年 1月27日[日] - 2月2日[土]

開館時間 10:00 - 18:00

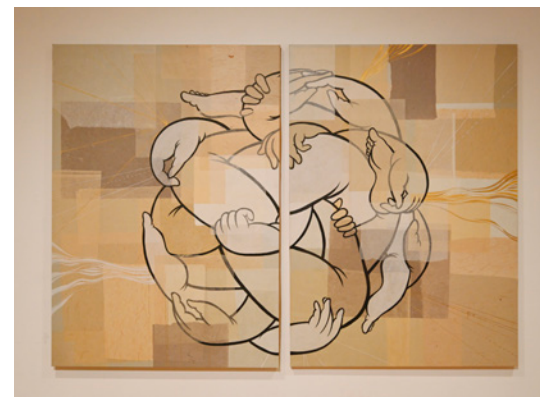
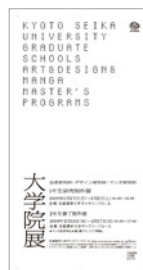
出展作家 芸術研究科/デザイン研究科/
マンガ研究科(カートゥーン専攻)1年生

関連イベント

芸術研究科M1フロール展公開講評会

日時 2月1日[金]14:00 - 17:00

ゲスト 島本 沅(京都精華大学名誉教授) / 鮎江 秀樹(京都精華大学教員)



申請展

京都精華大学展2019大学院展
[芸術研究科・デザイン研究科]
2年生修了制作展

2019年 2月13日[水] - 2月17日[日]

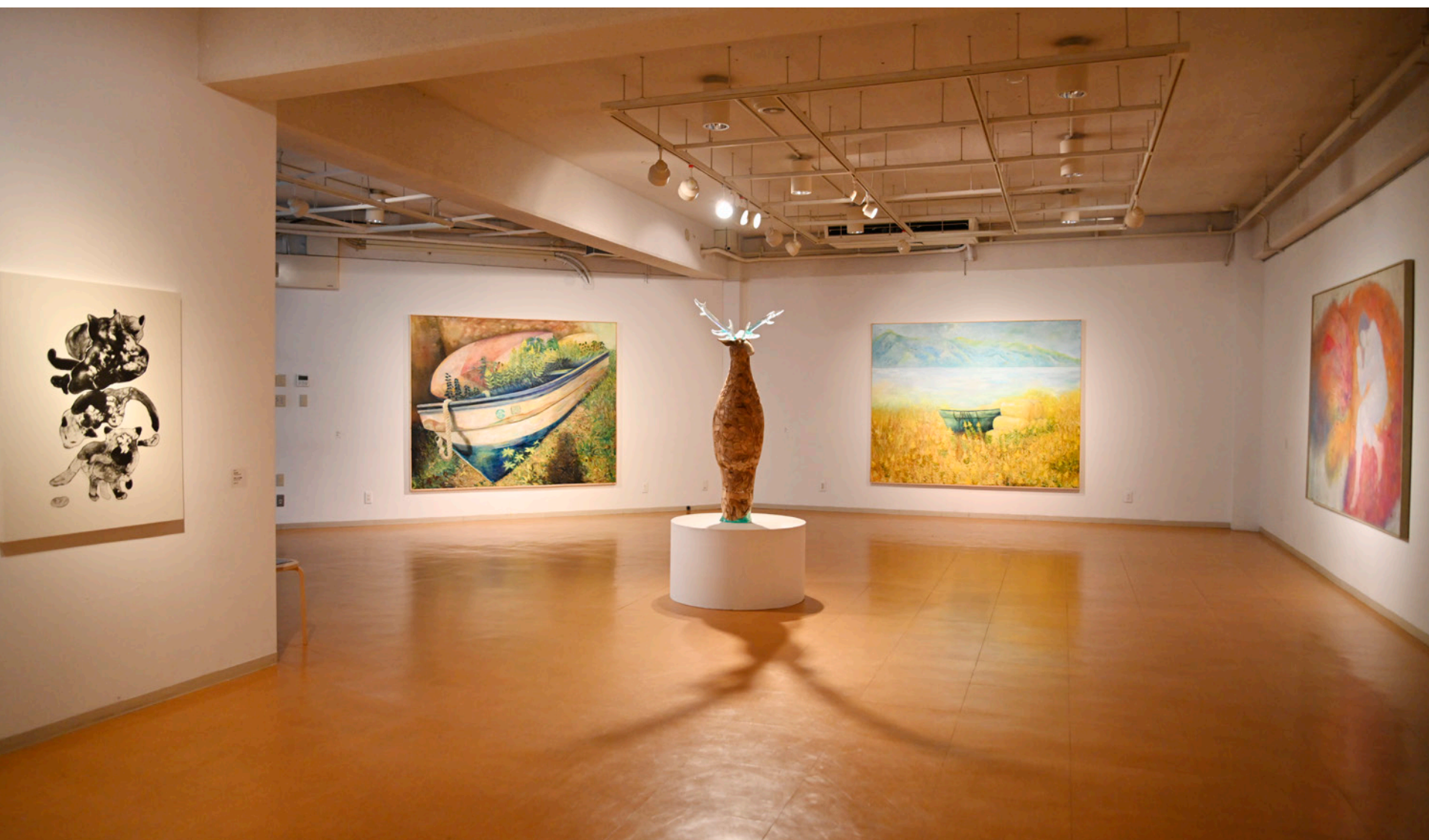
開館時間 10:00 - 17:00

出展作家 芸術研究科/デザイン研究科2年生



関連イベント

講演会 & 公開講評会
「美術のまじわるところ
-アーティストとともにプログラムをつくること」
日時 2月13日[水]14:00-16:20
ゲスト 伊藤まゆみ
(公益財団法人東京都歴史文化財団
東京都現代美術館トキョーアーツアンド
スペース事業課企画調整係長)



創造的ドローイング —作家になるために—

2019年 2月26日[火]—3月2日[土]

開館時間 10:00—18:00 ※最終日は16:00まで

主催 北山善夫

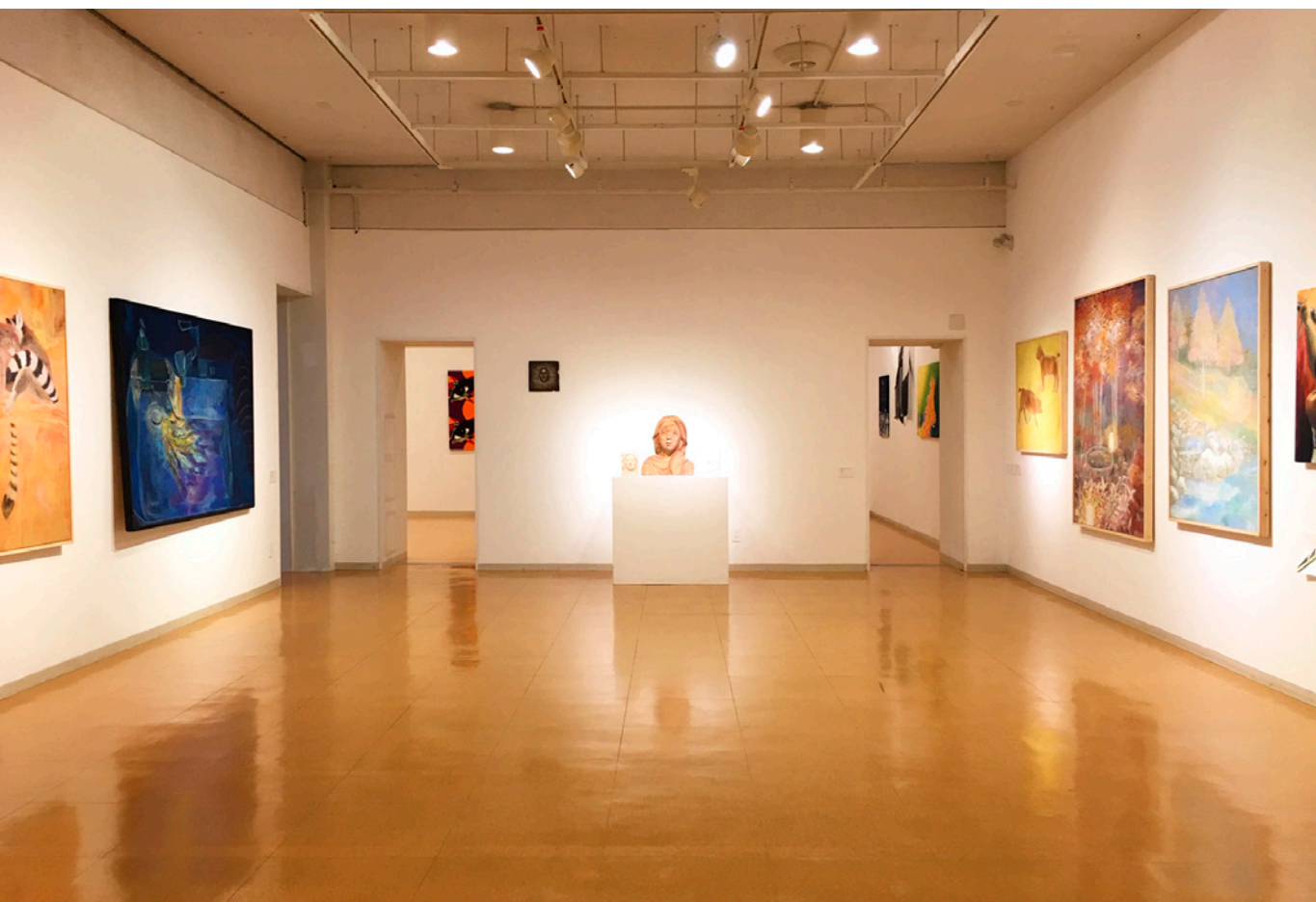
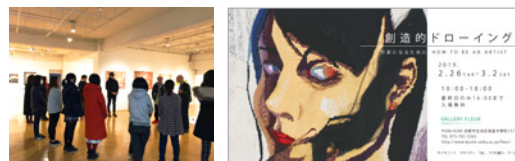
創造的ドローイングが授業名であるが、この授業は「作家になるために」とサブタイトルにしている。ドローイングによって学生は自分の創造の限界に切り込んでいる。しかし、ドローイングは作品としては前段階である。だから最終的には作品も制作・発表することになっている。展覧会というステージで、表現の統一現場を各学生は体験することになった。

関連イベント

公開合評

日時 3月2日[土]14:00—

島本亮氏(美術史家)をお迎えして、北山善夫とともに公開合評を行った。



「かくこと、きくこと、つくること」
勇内真美個展

2019年 3月6日[水] - 3月16日[土]

休館日 3月10日[日]/14日[木]

開館時間 12:00 - 17:00

主催 勇内真美



「美術大学の博士課程はどんな論文を書くの？」
「何のために論文を書くの？」
よくこう尋ねられる。
大学院博士後期課程に在籍し、
「フォトグラム」でもある、
「光の版画」に関する論文を執筆する中、
現地点での表現のカタチを本展覧会で提示した。

京都精華大学展2019 作品選抜展

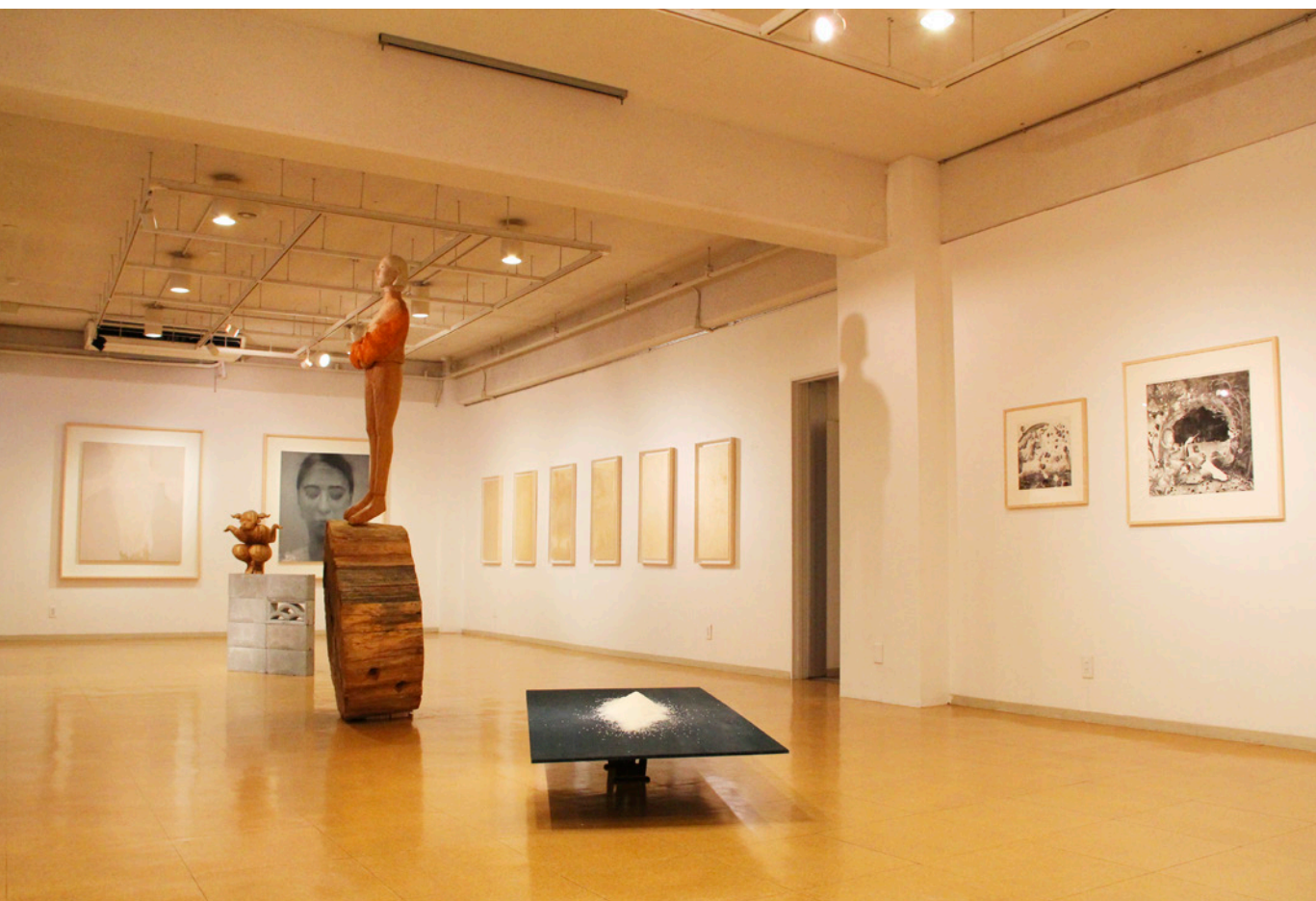
2019年3月24日〔日〕

開館時間 10:00-17:00

主催 京都精華大学広報グループ



2019年2月に開催した「京都精華大学展2019 -卒業・修了発表展-」から選抜作品を集めた展覧会を開催。



展覧会歴

1997年度

10月11日-11月3日

ギャラリー・オープニング記念企画展

第1回「洛北木野の色づかい：精華にかかわった人々展・1」

11月9日-11月24日

ギャラリー・オープニング記念企画展

第2回「崇高な神々：中国画像石の拓本展」

12月2日-12月14日

ギャラリー・オープニング記念企画展

第3回「マンガは情報である：日韓ワールドマンガ展」

1月12日-1月18日

芸術無国界之展：留学生展覧会

2月1日-2月20日 / 3月30日-4月4日

ギャラリー・オープニング記念企画展

第4回「今井憲一遺作展～表現者の苦悶～」

1998年度

4月27日-5月9日

それぞれの画室より 日本画教員展

5月11日-5月30日

表象と社会 ～エイズポスターの表現を見る～

6月2日-6月14日

版とその展開 版画教員展

6月16日-6月28日

素材と表現と Materials&Expressions

6月30日-7月12日

染・織・そして…

テキスタイルデザイン研究室展

7月14日-7月26日 / 8月3日-8月5日

「核の迷路 ～反核の声は無力か～」

9月22日-10月3日

素材と人と技 陶芸教員展

10月6日-10月11日

エチカとしての建築

第10回関西四大学合同建築展

10月17日-11月8日

京都精華大学創立30周年記念

「棟方志功肉筆画展 ～その宗教的な美～」

11月15日-11月29日

マヤ拓本展 ～マヤ文字は古代からのメッセージ

12月1日-12月13日

Solution 教育現場と設計活動の断面・接点

建築分野教員展

12月15日-12月20日

1998留学生展覧会 in 精華

1999年度

4月6日-4月13日

映画ポスターと社会・時代・文化展

4月16日-4月30日

TAIWAN AVANTGARDE：毒虫の多い熱帯都市台湾展

5月3日-5月8日

メキシコ・ウィチョルの人々の生活：

伝統的生活と現代との交錯

5月10日-6月6日

第6回 日韓大学版画交流展

6月8日-6月19日

ART"being"-一在り続けることへー

6月21日-7月18日

モンゴルの書と文化

7月21日-8月4日

ひと もの そのあいだ

9月21日-9月25日

京都精華大学 留学生展

9月27日-10月9日

KINO-VISION：メディアアート展

10月12日-10月17日

第11回 関西四大学合同建築展 シャングリラ

10月23日-11月14日

糊の文化 型染と筒描き展

11月17日-12月15日

画家とモデル展：ピカソからピゴー そして少女マンガまで

12月19日-1月27日

吉祥と招福のかたち：中国の民間伝承年画展

2月7日-2月26日

嶋田美子展：ジェンダー、イメージ、ネーション

2000年度

4月25日-5月14日

アンコール・ワット拓本展：癒しの文化クメール

5月18日-5月25日

PENIMO PROJECT

5月29日-6月4日

春期フィールドワーク報告展：

人文学部生による海外現地研究プログラム

6月8日-6月15日

京都精華大学 留学生展

6月19日-7月8日

PRINT/In and Out」造形学科版画分野講師展

7月14日-8月3日

ゴミが語る・ゴミを読む：京都精華大学環境展

9月18日-9月30日

Hello & Good-bye 池本勝宏 全仕事展

10月2日-10月8日

秋期フィールドワーク展：

人文学部生による海外短期・国内現地研究プログラム

10月12日-11月11日

生誕100周年記念「浅野竹二遺作展：創作版画の草分け」

11月14日-11月25日

Laurie Toby Edison: "Familiar Men" and "Women En Large"

11月19日-11月23日

World Wide Network Art 2000

～Bitの森「時を哲学する 一Part?」～

11月30日-12月21日

岩倉展：洛北の説話伝承とくらし

2001年度

4月10日-4月22日

ギャラリーフロール所蔵品展 一洋画と版画を中心として一

5月3日-5月23日

ギャラリーフロール所蔵品展 一浅野竹二/モンゴルの書一

5月28日-6月3日

春期フィールドワーク報告展：見る・聞く・歩く

6月14日-6月20日

京都精華大学留学生展：一への回帰

7月2日-7月18日

ギャラリーフロール所蔵品展

一浮世絵・中国年画・マンガ一

7月29日-8月3日

World マンガ展：ワールドカップと友達

9月22日-10月5日

KINO VISION：第2回メディア・アート展

10月8日-10月14日

秋期フィールドワーク報告展

10月18日-11月13日

金田辰弘展一京都精華大学所蔵作品による一

11月27日-12月20日

ジョゼフ・コーネル展 一箱と映画一

1月8日-1月19日

京都 墨人 一書一

1月22日-1月31日

くもりのち晴れ

一京都精華大学大学院芸術研究科1年生展

2002年度

4月11日-5月6日

村岡三郎展（退職記念展）

5月11日-5月26日

榎忠展 一MADE IN KOBE L・S・D・F

（LIFE・SELF・DEFENSE・FORCE）

5月30日-6月4日

春期フィールドワーク報告展

6月8日-6月23日

巫女ときつね：富山妙子展

6月27日-7月16日

第8回日韓大学版画展及びアルスター大学版画展

9月19日-9月29日

土井彩華展

9月19日-9月28日

キャンベラ美術大学テキスタイル作品展
—キャンベラから京都へ—

10月3日-10月8日

京都精華大学留学生作品展覧会

10月10日-10月15日

秋期フィールドワーク報告展

11月1日-12月15日

現代の版画～その多様な表現～

1月16日-1月21日

京都精華大学大学院芸術研究科1年生25人展

2003年度

4月24日-5月6日

ギャラリーフロール所蔵品展 現代美術の視点

5月10日-5月18日

ごんた展

5月22日-6月22日

現代ドイツ木版画展

6月26日-7月1日

留学生作品展

7月5日-7月11日

長期フィールドワーク報告展

9月22日-10月5日

日本・トルコ現代美術交流展
「インタラクション」

10月9日-10月14日

短期フィールドワーク報告展

10月18日-10月26日

白色雑音

10月30日-11月11日

NO FUTURE

11月21日-12月14日

フィンランド現代美術展
—GOKANN 五感・五官・互換・語感・語幹

12月18日-12月23日

森田洋子展 紅彫画

1月15日-1月20日

京都精華大学大学院研究科1年生展

2004年度

4月17日-5月9日

ギャラリーフロール所蔵品展
「ジョセフ・アルバース版画展」

5月10日-5月18日

「ケータイ図鑑 —モバイル進化論」展

5月20日-5月30日

「版読」展

6月10日-6月15日

留学生展覧会

6月19日-7月25日

シュウゾウ・アヅチ・ガリバー展

9月20日-9月26日

第16回関西三大学合同建築展

10月3日-10月10日

フィールドワーク報告展

10月14日-10月24日

Common Sense—自己から他者へ—

10月29日-11月9日

イン・アウト/アウト・イン 展

11月20日-12月19日

クラウドディア・テルスタッペン展：聖なる地

1月6日-1月16日

石の脱皮—生と死/ヨーロッパ墓碑拓本展

1月20日-1月24日

京都精華大学大学院芸術研究科1年生展

2005年度

4月23日-5月29日

塩田千春展—When Mind Become Form—

6月2日-6月12日

「A party—Come as you are—」展

6月16日-6月28日

「目の前を、聞く | 1980年代以前以後」展

7月2日-7月8日

留学生作品展覧会

7月11日-7月17日

長期フィールドワーク報告展

7月21日-7月31日

「オッケともだち」展 —軌跡の先に祈りを—

9月22日-10月2日

「Come —こどもべやはじめました—」展

10月6日-10月25日

ドイツのアニメーション・フィルム展

10月29日-11月9日

「人かげ」展

11月17日-11月22日

ショートプログラム報告展

11月26日-12月18日

ギャラリーフロール所蔵品展 —現代美術の多様性

1月7日-1月14日

「空展」～あなたは空を見えますか?～

1月17日-1月22日

大学院芸術研究科1年生展

2006年度

4月15日-5月14日

西田潤展 “絶”

5月20日-5月28日

「ニナレコ?～Welcome to the alien's room～」展

6月1日-6月11日

「Intersection points」展

6月15日-6月25日

「風景のツクリカタ～再解釈のための方途～」展

6月29日-7月4日

京都精華大学留学生展覧会

7月8日-7月18日

「A Piece of You」展

9月25日-10月1日

AGI 掛け軸展

10月5日-11月7日

岡崎和郎展

11月16日-11月26日

「懐疑と捏造 —アートのジレンマ」展
Skepticism & Fabrication:
The Dilemma of Art

11月30日-12月10日

ギャラリーフロール所蔵品展 —新収蔵品を中心に—

12月16日-12月24日

インターカレッジメディアアート展2006

1月11日-1月15日

手技に学ぶ —京都の伝統産業実習展

1月18日-1月23日

大学院芸術研究科1年生展

2007年度

4月19日-5月6日

ギャラリーフロール所蔵品 —京都洋画壇の作家を中心に

5月10日-5月20日

「雑陶～13通りの表現～」展

5月10日-6月17日

所蔵品特別展示 鎮魂・平和・人間 展

5月24日-6月3日

「ourselves」展

6月7日-6月17日

「石」展

6月21日-7月1日

「205H —版画三回生有志」展

7月5日-7月10日

京都精華大学留学生作品展

9月22日-10月7日

「芸術学部教員退職記念展」
黒崎彰展 / 小林陸一郎展

10月13日-10月16日

朽木盆と染型紙特別展示

10月20日-11月6日

開館10周年記念 ギャラリーフロール回顧展

11月15日-11月25日

「存在の場所」展

11月29日-12月9日

「鏡」-微睡みと反射-展

1月10日-1月15日

大学院芸術研究科1年生展

2008年度

リニューアルのため休館

2009年度

7月17日-8月2日

リニューアルオープン展示
ギャラリーフロール・コレクション・ハイライト

10月8日-10月18日

日・韓マンガ、アニメーション大学交流展

10月8日-11月3日

戦争と平和

10月12日-10月18日

ロンドン-京都 学生共同制作プロジェクト作品展

10月22日-11月3日

Power of Art Exhibition
アートの子カラ展 6人のアーティストたち

11月16日-12月1日

「7つの部屋/7つの芸術」Seven rooms/Seven artists

12月4日-12月13日

Flames -“On”/“Out”-

12月4日-12月13日

写真同好会 写真展「夢うつつ」

12月4日-1月6日

コレクション*テーマ展1
「食べよう/食べた/食べる/食べること/食べれば/食べよ」

12月4日-1月9日

コレクション*テーマ展2「あかるい部屋」

12月17日-12月25日/1月5日-1月9日

料理中華~チャイニーズ・アート・コンプレックス~

1月12日-1月16日

大学院芸術研究科1年生M1展

2010年度

4月20日-5月22日

京都精華大学ギャラリーフロール
所蔵品セレクション100

6月1日-6月19日

コレクション*テーマ展示1「デザイン・デッサン」

6月1日-6月19日

コレクション*テーマ展示2
「hear something・・・」

6月1日-6月19日

写真と映像「心の池」深泥池の記憶

6月25日-7月6日

SPOT~見えないけれど確かに存在するもの~

6月25日-7月27日

所蔵品展示

7月12日-7月27日

退屈な一日 -モウロウ派の画家-

9月24日-10月23日

「介入の芸術、現在(いま) -ロンドン&京都」展

9月24日-10月23日

LIFE WITH ART~受け止め、そして、渡す人~

11月5日-11月27日

祈りの場所

12月1日-12月11日

絵の彼方

12月1日-12月11日

green of green 緑の欲望

12月1日-1月8日

コレクション・テーマ展3
「のりもののりかた」

12月1日-1月8日

所蔵品展示「塩田千春"Wiedersehen"(再会)」

12月17日-1月8日

MinMin 染色展

2011年度

4月15日-5月21日

村上友晴展

4月15日-6月8日

長岡国人版画作品展

5月26日-6月8日

SPACE SHARE

5月26日-6月8日

小林陸一郎 立体

6月23日-7月6日

return

6月23日-7月23日

コレクション*テーマ展示1
「ビジツの教科書でみたことあるぞ!？」

6月23日-7月23日

コレクション*テーマ展示2「光」

7月11日-7月23日

Leave Color-視覚と知覚-

7月11日-7月23日

佐脇 遼 展

9月23日-10月15日

Center for COSMIC WONDER企画
「ORGANIC RELATIONSHIPS
~反復 反響する次世代へ」

9月23日-10月15日

「ギャラリーフロール × MUZZ」プロジェクト「somesuch」

10月20日-10月29日

中島 伽耶子 展

10月20日-11月30日

コレクション*テーマ展示3「ピー子、世界のファッションチェック」

10月20日-11月30日

現代の彫刻

11月5日-11月16日

2011 SEIKA×TAMABI 版画交流展

11月23日-11月30日

・・展

12月6日-12月21日

Stone Appreciation

12月6日-12月21日

常設展示 ジョルジュ・ルオー 版画集『悪の華』

12月6日-2012年1月21日

コレクション*テーマ展示4「点と線 | dots and lines」

1月6日-1月21日

風景の逆照射
Inverse Perspective Project IPP #0 Landscape

2月6日-2月18日

「ギャラリーフロール×MUZZ」プロジェクト
Too young -見たことがない、ふつうの展覧会-

2012年度

4月25日-4月30日

卒業制作選抜作品展

5月8日-6月2日

京都精華大学ギャラリーフロール所蔵品展
「福井勇作品特別展示」

6月6日-6月13日

京都精華大学芸術学部教員作品展

7月2日-7月21日

Identify Identities -with wordgraphy-

7月2日-7月21日

コレクション*テーマ展示1「skin and bones」

7月2日-7月21日

所蔵品展示「女性と戦争 -富山妙子・嶋田美子-」

7月25日-7月31日

SEIKAマンガのプロフェッショナルたち

9月25日-10月10日

記憶の標本

9月25日-10月27日

所蔵品展示「ジョセフ・アルバース」

10月15日-10月27日

版画の未来図とグローバルヴィジョン

11月1日-11月3日

十五周年記念 華展 -つながり-

11月9日-12月8日

Domestic and Abroad—国境を越えて見えるもの—

12月13日-12月22日

袖岡千佳展—平熱の草いきれ—

12月13日-12月22日

Influence—差響する「」—

12月13日-1月26日

常設展示「現代日本の彫刻」

1月10日-1月26日

溶ける魚—つづきの現実

3月20日-3月24日

卒業制作選抜作品展

2013年度

4月16日-4月29日

M1展 京都精華大学大学院博士前期課程一年生展

5月17日-6月4日

所蔵品展「京都の洋画と現代美術を中心に」

7月12日-7月19日

奥行き学習教材—1000年教材の誕生—

7月12日-7月19日

故 村岡三郎先生 追悼展示

7月24日-7月30日

アート×マンガ～表現の境界

10月16日-10月29日

Habit is second nature. —習慣は第二の天性—

10月16日-12月4日

常設展示「日本の現代彫刻」

11月1日-11月3日

華道同好会華展—はずみ—

11月20日-12月4日

ImageFeedback

12月10日-1月16日

新井淳一の布/伝統と創生

1月21日-1月26日

京都精華大学大学院 芸術・デザイン研究科一年生展

3月21日-3月23日

卒業制作選抜作品展

2014年度

6月4日-6月14日

セイカのそとのセカイ/セカイのなかのセイカ展

—セイカはセカイになにをもたらし、

セカイはセイカになにをもたらしたか—

7月2日-7月12日

華麗なる遅刻魔(版画コース3回生有志展)

7月21日-7月28日

余裕満々 京都精華大学+弘益大学彫刻交流展

11月1日-11月3日

第17回 華道同好会 華展「花織り」

11月28日-12月8日

そんなに 遠くない

12月11日-12月20日

京都精華大学のゆとり世代は実は大問題である展

1月13日-1月17日

2014年度「京都の伝統産業実習」報告展

3月21日 / 28日 / 29日

卒業制作選抜作品展

2015年度

4月26日-5月1日

京都精華大学産学連携プロジェクト展

6月6日-6月13日

京都精華大学卒業生ファイル

—未来と出会う—

7月4日-8月2日

知らない都市

—INSIDE OUT—

10月8日-10月16日

NEW

10月27日-11月7日

凸～Embodiment of OSU

11月11日-11月17日

お耳の病院

11月23日-12月4日

工芸とデザイン—伝統の再解釈、手仕事の現在地—

11月23日-12月4日

京都の伝統産業実習報告展

12月18日-1月23日

本の空間—ざわめきのたび

2月8日-2月13日

創造的ドローイング—作家になるために

3月24日-3月27日

ジャンプブブブブブブブ展

2016年度

4月18日-5月1日

京都精華大学卒業生ファイル2016—未来の問い

5月10日-5月20日

ダウジング

6月3日-6月17日

連鎖とまたたき

7月1日-8月5日

Fashioning Identity

9月26日-10月8日

ソウゾウ展

10月12日-10月15日

素材表現における身体性—日常と非日常の身体を知る

10月19日-10月24日

10・8 山崎博昭追悼「ベトナム反戦闘争とその時代」展

10月28日-10月29日

京都精華大学華道同好会華展・りん。

11月1日-11月10日

Multiply それぞれの地点より燐光する視点

11月15日-11月22日

巨人展 小人展

11月15日-11月22日

インターページ

11月28日-12月8日

2016年度「京都の伝統産業実習」報告展

12月16日-2017年1月21日

後藤靖香個展「必死のバッチ」

2月6日-2月11日

創造的ドローイング—作家になるために

How to be an artist

2月15日-2月19日

12×12 ART×MUSIC

—contemporary art meets

music on 12inch square—

2月23日-3月2日

なにをみて、なにをつくる

3月7日-3月13日

黒型、白抜、彫写

3月20日-3月28日

Inner Landscape spread

2017年度

4月4日-4月15日

セイカMARBLE展

4月30日

Seika Anime Selection

6月16日-7月15日

高見島—京都：日常の果て

7月21日-7月26日

Katagami in the Silver Studio

7月21日-7月26日

2017テキスタイル院生展 part1

8月24日-9月2日

Heterogeneous

9月26日-9月30日

Graphic Arts Exhibition

10月3日-10月7日

さなぎの鼓動

10月11日-10月28日

台湾原創漫画の能量展

11月3日-11月4日

自然と造形の展覧会「れん」

11月8日-11月11日

体幹授業立体基礎展「対象のトランスレーション」

11月15日-11月23日

共生社会の実現に向けて一歩を踏み出す展覧会

11月28日-12月2日

2017年度「京都の伝統産業実習」報告展

12月6日-12月14日

セイカイラストOB展2017

12月19日-1月11日

自由の場所

1月16日-1月20日

創造的ドローイング

1月23日-1月26日

立体造形3年生進級展「24の交差」

1月29日-2月18日

大学院展[芸術・デザイン・マンガ研究科]

2月28日-3月9日

消滅と再生、幻想の物語

3月14日-3月27日

書物の感覚

2018年度

4月3日-4月7日

ビジュアルデザイン学科3年生
プロジェクト授業成果発表
「パンプアップ展」

4月17日-4月29日

京都国際マンガ展20年の軌跡

6月8日-7月7日

京都精華大学50周年記念展
「アスピレーションズ—8つの扉」

7月19日-7月28日

体幹教育前期学修成果発表2018

8月3日-8月5日

合同陶芸展

8月20日-9月1日

No-interaction

9月10日-9月29日

Obsession Conception Possession

11月3日-11月4日

SEIKA JACK

11月9日-11月10日

ここん 京都精華大学 嵯峨御流華道同好会 第21回華展

11月14日-11月24日

共生社会の実現に向けて二歩目を踏み出す展覧会

11月27日-12月7日

2018年度「京都の伝統産業実習」報告展

12月14日-1月12日

京都精華大学50周年記念展
「石黒宗磨と八瀬陶窯—五〇年目の窯出し—」

1月23日-1月25日

タイカン後期学修成果発表2018

1月27日-2月2日

京都精華大学展2019 大学院展
[芸術研究科・デザイン研究科・マンガ研究科]
1年生研究制作展

2月13日-2月17日

京都精華大学展2019 大学院展
[芸術研究科・デザイン研究科]
2年生修了制作展

2月26日-3月2日

創造的ドローイング—作家になるために—

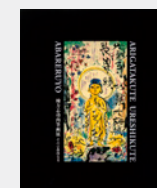
3月6日-3月16日

「かくこと、きくこと、つくること」勇内真美個展

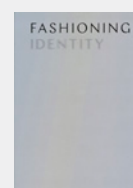
3月24日

京都精華大学展2019作品選抜展

以上

残像 今井憲一
カタログ・レゾネ発行 1992年
ページ 96ページ
判型 A4判
単価 3,000円棟方志功肉筆画展
その宗教的な美発行 1998年
ページ 88ページ
判型 A4判変型
単価 1,500円

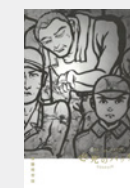
金田辰弘展

発行 2001年
ページ 124ページ
判型 A4判変型
単価 2,500円(上製本)
1,500円(並製本)知らない都市
—INSIDE OUT発行 2015年
ページ 44ページ
判型 A4判ヨコ
単価 700円本の空間
—ざわめきのたび発行 2015年
ページ 60ページ
判型 四六判
単価 700円

Fashioning Identity

発行 2016年
ページ 70ページ
判型 A5判
単価 1,000円

出版物一覧

※在庫があるもののみ記載
(2019年3月1日現在)
価格は全て税込後藤靖香展
必死のパッチ発行 2016年
ページ 32ページ
判型 A4判
単価 700円高見島—京都：
日常の果て発行 2017年
ページ 60ページ
判型 B5判
単価 700円台湾原創漫画の能量展シンポジウム
「知られざる台湾マンガの秘密」発行 2017年
ページ 50ページ
判型 B5変形
単価 700円京都精華大学50周年記念展
「アスピレーションズ—8つの扉」発行 2018年
ページ 50ページ
判型 B5変形
単価 700円京都精華大学50周年記念展
「石黒宗磨と八瀬陶窯—五〇年目の窯出し—」発行 2019年
ページ 64ページ
判型 A5判
単価 1,000円

2018年度来場者数

展覧会名	来場者数
ビジュアルデザイン学科3年生 プロジェクト授業成果発表「パンプアップ展」	272
京都国際マンガ展20年の軌跡	316
京都精華大学50周年記念 「アスピレーションズ—8つの扉」	892
体幹教育前期学修成果発表2018	437
合同陶芸展	169
No-interaction	118
Obsession Conception Possession	185
SEIKA JACK	881
ここん 京都精華大学 嵯峨御流華道同好会 第21回華展	157
共生社会の実現に向けて 二歩目を踏み出す展覧会	175
2018年度「京都の伝統産業実習」報告展	302
京都精華大学50周年記念 「石黒宗彦と八瀬陶窯—五〇年目の窯出し—」	584
タイカン後期学修成果発表2018	114
京都精華大学展2019 大学院展 [芸術研究科・デザイン研究科・マンガ研究科] 1年生研究制作展	215
京都精華大学展2019 大学院展 [芸術研究科・デザイン研究科] 2年生修了制作展	952
創造的ドローイング—作家になるために—	96
「かくこと、きくこと、つくること」勇内真美個展	57
京都精華大学展2019作品選抜展	483
年間合計	6405

利用案内



GALLERY FLEUR

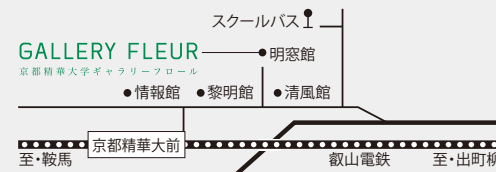
京都精華大学ギャラリーフロール

京都精華大学 明窓館1・2階の一部
〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137

開館日 展覧会開催期間
休館日 日曜日・祝日・大学が定めた日
開館時間 10:00-18:00(展覧会により異なる)
入場料 無料

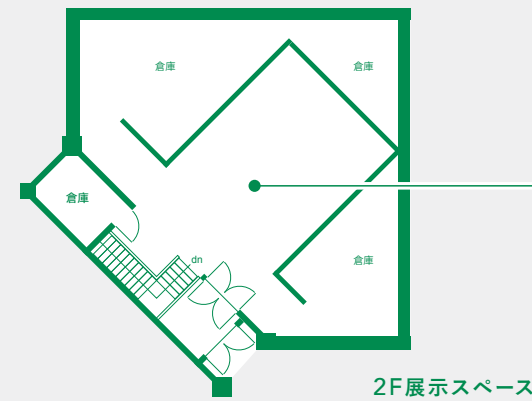
お問い合わせ
研究推進グループ ギャラリーフロール 担当
京都精華大学 本館2階
〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137

TEL 075-702-5263
FAX 075-722-5440
E-MAIL fleur@kyoto-seika.ac.jp

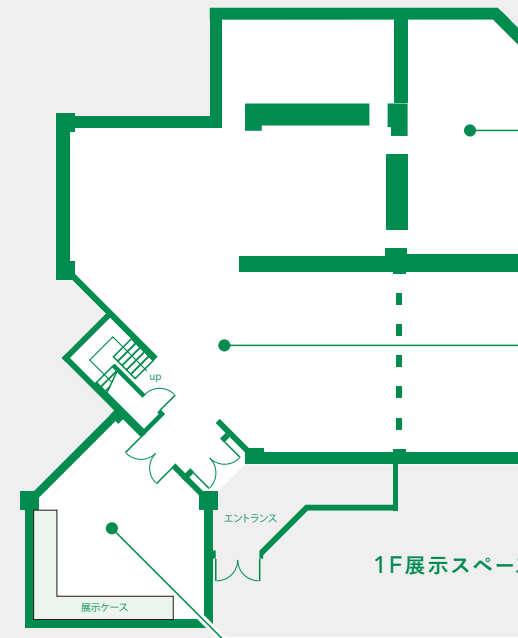


□ 叡山電鉄鞍馬線「京都精華大前」下車
□ 地下鉄丸線「国際会館」下車、3番出口よりスクールバス
※ 駐車場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

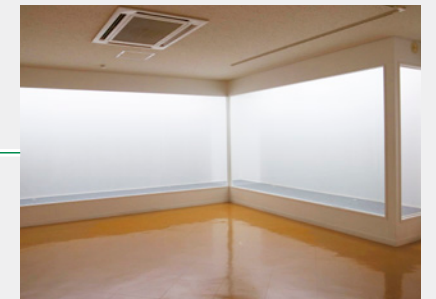
施設図面



2F展示スペース



1F展示スペース



京都精華大学ギャラリーフロール
2018年度活動報告

発行日 2019年3月31日

発行元 京都精華大学展示コミュニケーションセンター

デザイン 加瀬部敏志

